

神奈川県立藤沢支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

審議会等名称	令和6年度 藤沢支援学校 第3回学校運営協議会
開催日時	令和6年11月12日（火曜日） 午前9時30分～午前11時30分
開催場所	神奈川県立藤沢支援学校鎌倉分教室 鎌倉高等学校国際理解ホール
出席者	運営協議会委員7名（本校校長を含む） 事務局教職員4名
会議資料	・ 藤沢支援学校高等部（本校）作業班バザーのお知らせ
議事録	<p>1 開会 (1)校長あいさつ (2)会長あいさつ</p> <p>2 鎌倉分教室の教育活動について ・分教室の教育活動及び、防災等の取組について、分教室長より報告</p> <p>3 教育活動視察・作業体験 ファクトリー班 缶バッジ製作体験 対人サービス班 創造班</p> <p>4 協議 分教室の教育活動について 地域と協働した 安全・安心な学校づくりについて</p> <p>意見・質問等</p> <p>○ 分教室の教育活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒たちが目標を持ち、楽しそうに働いている様子が、とても良かった。 ・ 一人ひとりが、自分の役割を一生懸命はたそうとしていた。作業に関する質問にも、丁寧に答えてくれた。 ・ 目標を明確に掲げ、3年間積み重ねている。 一般就労や移行支援では、そのような業種に進んでいるのか。 ⇒製造、調理等、それぞれ得意な分野、やりたい分野からマッチングしている。 ・ 様々な個性のある生徒の指導に、教員が一生懸命取り組んでいる。 ・ 創造サービス班という名称を、生徒たちが、皆で考えて作ったと教えてもらった。様々なところで、生徒たちが働く様子を想像することができた。 ・ 分教室に在籍する生徒の実態が、10年前と変わってきているが、分教室としてめざす姿に向けて、しっかりと対応できている。 <p>○ 地域と協働した、安全・安心な学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PTAは、昨年から引き続き、災害時の対応について取り組みを継続している。時間の委員会、映像を災害時の対応に関する映像視聴する学習会を予定している。 ・ コロナ禍で、防災訓練がままならず、再構築している状況がある。シミュ

	<p>レーションを重ねてはいるが、実際に発災した場合にどれだけ耐えうるか、不安がある。支援学校においては、取り組みや対応を情報共有しながら、発災時の想定を保護者と一緒に考えることが必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や家庭にいる間は想定しやすいが、通学場面で発災した場合の対応が、マニュアルに位置付けられているか。 <p>⇒スクールバスの運行ルート上に、拠点を設定することや、電車等がマヒした状況を想定した対応を検討する。</p> <p>遅刻連絡を自分でする習慣をつけることが、交通が遮断された時の連絡に役立った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全を確保して待機できる場所の確保が大前提になる。 ・ 在校時は、学校に安全に留め置くことを優先し、確実に保護者に引き渡すまでの備蓄をすることも必要である。 ・ 支援学校においては、学校を中心とする地域だけではなく、バスポイントや活動の拠点を中心とした範囲を地域と位置付け、理解啓発を図るとうまくいくのではないかな。 ・ 二次避難所としての役割もある。避難所開設を想定した準備をしておくとい。 ・ GPSを使用したバスの位置把握や、一人ひとりがどこにいるのかがわかる仕組みを使っている事例もある。 ・ 地域の中で、支援学校の存在、子どもたちの活動が知られていることが大切である。地域の中で、知っていただき、取組が浸透するよう、教育活動を進めてほしい。 <p>5 閉会</p> <p>(1)校長あいさつ</p> <p>地域に本校の活動を知っていただき、取組が浸透するよう進めていく。</p>
次回開催予定日	令和7年2月17日（月）